

収受番号: 368

サービス評価結果提出届 (兼受理書)

健康福祉局介護事業指導課 あて

(太枠内のみ記入してください。)

提出日: R8 年 2 月 23 日

届出者	サービス種別 (該当に○)	○	認知症対応型共同生活介護					○	介護予防 認知症対応型共同生活介護				
	事業所番号	1	4	7	3	7	0	1	3	6	3		
	事業所名	グループホーム夢感											
	事業所所在地	(〒 227 - 0044) 横浜市青葉区もえぎ野 10-119											
	担当者名	中原 美由紀											
	連絡先	電話	045-979-0860					FAX	045-979-0808				

次のとおり、資料を添えて提出します。

外部評価実施方法 ※実施した方法に○を記入してください		外部評価機関による評価	○	運営推進会議における評価
外部評価受審結果表受理日又は 運営推進会議における評価実施日		令和 8 年 1 月 24 日		
添付書類 (チェック欄にレ)	チェック欄	レ	自己評価及び外部評価結果※(外部評価の緩和適用年度は自己評価のみ)	
		レ	目標達成計画 (毎年度提出が必要です)	
		レ	返信用封筒 (110 円切手を貼り、返信先を明記した長 3 封筒)	

※運営推進会議における評価の場合は、「自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール」を提出してください。
外部評価の緩和適用年度に提出する自己評価は神奈川県が定める様式を活用して提出してください。

(以下は記入しないでください。)

次のとおり、サービス評価結果報告書を受理しました。

報告書受理日	8 年 2 月 26 日		実施年度	7 年度	
受理内容	○	自己評価結果	○	外部評価結果	○ 目標達成計画
次回実施期限	9 年 3 月 31 日				

<次回外部評価実施後、評価機関から受審結果表を受理した日から1か月以内に報告書を提出して下さい>
<この受理書は再発行しません。外部評価の緩和の適用を受ける際に必要なため、保管してください>

【発行】横浜市健康福祉局介護事業指導課 電話 045-671-3466 FAX045-550-3615

受付担当者:



目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム夢感

作成日 R8 年 2月 24 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	介護記録記入タブレットに変更したが毎日の個人の記録が乏しい、どんなことを記録して良いか理解できていない	・記録の大切さを理解する。 ・利用者様の声を聞きとり残すこと。	記録する時間を作る。 早番、日勤、遅番終了15～20分前には記録を行う。 タブレットに普段使用する記録用語入れる。	12ヶ月
2	20/48	マンパワー不足もあり思う様に地域資源を活用出来ていない地域密着をより深める必要にする。	・利用者様の毎日に変化を持って頂ける様に工夫し、地域密着の輪を広げる	コロナ前に地域の子供たちが施設を訪問して下さっていましたが時期を見て交流したいと思います。	12ヶ月
3	25	防災対策、BCPガイドラインに沿って備蓄等行っているが完全では無く、食量の確保、備蓄倉庫の課題。	・防止委員以外の職員の力、 ・近隣住民の方との交流。	消防訓練時に近隣の方にも参加して頂き災害時の対策を行いたい。	12ヶ月
4	35	ガーデンはあるが年に一度の納涼祭、時々お茶するなど、上手く活用できていない。	・利用者様と職員と一緒に花や野菜を育てる。	各ユニットごとに園芸部員を立ち上げる。利用者様にお声掛け楽しみを増やす。	12ヶ月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

自己評価及び外部評価結果

1. 事業所概要

事業所番号	1473701363	実施年度	令和7年度
法人名	株式会社よこはま夢倶楽部		
事業所名	グループホーム夢感 カルナ棟		
所在地	(227 -0044) 横浜市青葉区もえぎ野 10-119		
サービス種別	☐ 認知症対応型共同生活介護 ☐ 介護予防認知症対応型共同生活介護	定員	計 9名
		ユニット数	1ユニット
自己評価作成日	令和8年1月24日	評価結果 市町村受理日	

2. 運営推進会議開催日時・場所

日 時	令和8年1月24日 14時～16時	場 所	グループホーム夢美
-----	-------------------	-----	-----------

3. 運営推進会議メンバー

区分	委員分野・主な役職等	人 数
委員	利用者又は利用者の家族	5人
	地域住民の代表者	1人
	当該サービスに知見を有する者	2人
	市の職員又は地域包括支援センターの職員	1人
事務局	管理者	1人
	計画作成担当者	1人
	介護従業者	1人

4. 事業所の特徴

理念に「その人らしい暮らしを支える尊厳のあるケア」とある通り、ご本人がご本人らしい生活を送る事が出来る様に本人が何を望むかという事を念頭に考えたケアプランとケアの実施でご本人の思いに寄り添う事を心掛けております。年間を通した季節を感じられるイベントや企画はもちろん、日々の生活の中でそれぞれが役割を持って頂ける様に工夫し、自分はまだ必要とされていると感じて頂く事で生きる意欲に繋がって頂ける様に意識しています。ホームに入る前の生活を出来るだけ継続出来る様、嗜好品等の継続が出来る様にも配慮しています。また、音楽療法、日々のレクリエーション以外にもアクティビティを楽しんで頂ける様に工夫しています。最後の時までご家族様や慣れ親しんだ環境、スタッフに囲まれていられるよう、お看取りまでお過ごし頂く事が出来ます。

--

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員全員が地域密着型サービス事業所の社会的役割を認識するためユニットや更衣室などに理念を掲示している。また職員の思いをつなげた各ユニットの理念を別途毎年度更新しつつ共有することで、実践につなげている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お散歩やイベント、地域との交流も再開している。まだ感染症の危険性がなくなったとは言えないが質の高い生活を送ってもらえるよう、今後も地域との交流を深めていこうと考えている。地域への認知症理解を深める為、地域ケアプラザに協力して頂いている。	月一回、樺の会(老人会)参加させて頂きお針仕事、麻雀を楽しんで頂いてます。 お散歩時ケアプラザに寄り休憩時間を取らせて頂いてます。 チームオレンジに参加し、スローショッピングの声掛けを頂き利用者様が楽しんで下さいました。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	レジュメに沿った内容だけでなく、入居者様がその場で発言したり出来る様な会議になるよう尽力している。また地域の方や地域ケアプラザの意見を頂き、ケアや施設運営に活かす事ができている。ご家族の疑問や要望を伺える貴重な機会となっている。	運営推進会議には、ご家族様、地域の方、ケアプラザの方をはじめ、意思疎通が可能な利用者様に参加頂き、貴重なご意見を頂いてます。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	都度市町村の担当者と連絡を取り合いながら協力関係が築けるよう取り組んでいる。また、担当者が市区町村の連携会議等に参加し、意見交換や情報共有なども実施している。困りごとがあったときは市町村の担当者に相談を上げたり、勉強会などのお手伝いをさせて頂いたりと相互関係を築けるような関係性づくりに取り組んでいる	ケアプラザの社会福祉士の方にご利用者様からの後見人のご相談をしたり地域の方々からグループホームはどんな所ですか？とお話があり見学会、相談会を行いました。		

5	身体拘束をしない ケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法 指定基準における禁止の対象となる具 体的な行為」を正しく理解しており、玄関の 施錠を含めて身体拘束をしないケアに取 り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアマネを中心とした身体拘束適 正対策委員会を年に 6 回開催して いる。その際議題に上がったことな どをカンファレンス等で各棟に共有 し、職員からの意見を聞いたりする 機会としている。現在身体拘束等の 対象者はいないが、日頃のケアの中 でスピーチロックや行動制限に繋が る様なケアにならないよう研修や取 組み等を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束委員会年に 6 回開催して おり防止に努めている。 スピーチロックが課題とされている。 身体拘束を回避する意識を高めてい る。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連 法について学ぶ機会を持ち、利用者の自 宅や事業所内での虐待が見過ごされるこ とがないよう注意を払い、防止に努めて いる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年 2 回の虐待防止の研修はもちろ ん、虐待防止委員会を年 6 回実施し カンファレンス等でも不適切なケアが 起きていないかを話し合っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	頻繁に委員会を開いて不適切なケア の未然防止に努めている。 虐待の予防に努めている。
7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事 業や成年後見制度について学ぶ機会を 持ち、個々の必要性を関係者と話し合 い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設における自立支援や生活リ ハビリ、本人を主体とした権利擁護 についてなど、日常生活における自 立支援事業として求められているこ とは周知できている。社会的な自立 支援事業や成年後見制度等を学ぶ 機会については、外部研修などに参 加しているが、職員全体への研修は 今後の課題としていきたい。			
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利 用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、 十分な説明を行い理解・納得を図って いる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居前にじっくりとご家族様と話 す機会を持ち、不安や疑問点につい てはいつでもご連絡頂き相談できる 体制がある。パンフレットには料金に ついて記載しており、きちんと理解 していただいた上で入居を決めて頂 いている。契約時には契約内容の説 明や疑問・不安などに対しても、ご理 解頂けるまで詳細を説明している			
9	運営に関する利用 者、家族等意見の 反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者 や職員ならびに外部者へ表せる機会を 設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	相談・苦情の申立先を契約書に 記載している。また、各ユニットの玄 関に「ご家族様の声」のポストを設置 している。ケアプランの更新等の面 談時に日々のお暮らしぶりをお伝え し、要望や意見を伺うよう心掛け、経 験・知識のある職員が相談窓口とな り対応に務めている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族様からの声ポストの設置等取 り組みがされている。 ポストを設置して相談窓口の間口を広 げている見識ある職員が対応して安 心して頂けるやり取りに努めている。

10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員 の意見や提案を聞く機会を設け、反映さ せている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員は人事考課のフィードバックや 契約更新時に管理職と面談、また管 理者は適宜必要に応じて面談・相談 を行っている。日々の小さな意見や 要望もできる限り管理職に伝え、改 善していく態勢ができている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や 実績、勤務状況を把握し、給与水準、労 働時間、やりがいなど、各自が向上心 を持って働けるよう職場環境・条件の整備 に努めている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	休憩ができるスペース確保に努め ている。社内外研修も積極的に参加 できるよう、スキルアップやモチベー ション向上に努めている。福利厚生 等の充実も図っている。環境整備に 努め、職員の給与水準アップに繋がる 加算の基準を満たすことで各自の 仕事に対する意欲向上に繋がるよう 努めている。また人事考課による評 価手当の支給がある		☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	研修スキルアップに努めている。人事 考課による評価手当を実施している。 労働環境を整えると同時に努力とスキ ルアップに着目して適正な評価に努め ている。
12	職員を育てる取り 組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケ アの実際と力量を把握し、法人内外の研 修を受ける機会の確保や、働きながらト レーニングしていくことを進めている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	新入社員は社内の研修やOJT確 認シートに基づくOJTを充分に受 け、必要なスキルが身につけられる よう支援している。また必要と思われ る社員には適宜、個人研修なども実 施し、外部研修等もできるだけ受講 できるよう支援の充実を図っている。 また資格取得支援や社内研修(eラ ーニング)にて職員がいつでも学べ る環境を整えている。		☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	OJT、個人研修、eラーニング研修の 活用をしている。 資格取得支援や研修受講を推奨して 職員のモチベーション向上を計ってい る。
13	同業者との交流を 通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交 流する機会を作り、ネットワークづくりや 勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サ ービスの質を向上させていく取り組みをし ている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	グループホーム連絡会に加入し、 同業の方との交流を図っている。ま た、連絡会主催の研修や活動に参 加し、質の向上につなげる情報交流 をしている。また、外部評価に他社 のグループホーム管理者に参加して 頂き、相互的にサービスの質の向上 に繋がるよう尽力している			
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場に おかず、暮らしを共にする者同士の関係 を築いている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員が一方向的に介護をするのでは なく、ケアの主体がご入居者様の望 む生活となっているよう、常にご家族 様やご本人の意思確認を行うよう尽 力している。また、日常生活業務は ご入居者様と一緒にいき、自立支援			

				を促しつつ「自分はここで必要とされている」と感じて頂けるよう尽力している。また、日常の行動や表情、ご様子に着目し、ご本人が安心して生活できる生活環境を作れるように努力している。個別化されたケアプランや対応方法、ケアの方針は職員間で情報共有がされている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	面会や外出・外食・外泊など全面的に可能とし、ご自身の大切な人たちとの関係が途切れることが無いよう、できる限りの支援に努めてきた。今後も必要に応じて支援し、更なるご本人とご家族のQOLの向上を目指す。親しい方との手紙のやりとりの支援や年賀状などのやりとりの継続支援に務めている。今後はもっと積極的に支援していけるよう課題としていきたい。	ご本人様、ご家族様からの要望に傾聴。 芋版、消しゴム版作りなどのレクリエーション実施している。利用者様が入居前の生活圏にあるケアプラザにお連れして懐かしむ機会を作っている。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	常に表情や仕草などに着目し、状況に応じて傾聴しつつ、ご利用者の望みを知るための努力をしている。また、介護記録を充実させる事を課題として、職員間での情報共有・カンファレンスに活用し、職員全員が把握できるよう尽力している。ご家族様のご意向はもちろん、ご家族様から見たご本人の思いや希望なども確認するように努めている			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	支援計画に沿ったモニタリングを3ヶ月毎に実施し、支援変更の必然性を明確にし、介護計画を作成している。ユニットカンファレンスにて職員の意見を出し合い、往診時にはドクターとの連携や相談を行いつつ、ご本人が何を求めているかを常に考え、意向をできるだけ伺うようにして	食事形態や口腔内の様子をチェックしている。区分変更についても頻繁に話合いの機会を設けている。重度化だけでなく軽度化する事もある。	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご家族との連携、医療との連携含め細やかなケアがされていると思います。観察と対話を通して生活面、医療面からきめ細かい介護が実現できる様努めている。 話合いで話す内容を含め、モニタリングの実施が良く出来ている。

				いる。また、ご家族様との面談を実施。ご家族の思いや要望もできるだけ反映できるように尽力している。			
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録はタブレットに変更し、食事量・水分量・排泄・入浴・バイタル・リネン交換日・個々の特変基準値等を含め、ケアプランや申し送りなど、いつでも確認・把握が出来る様に活用。またモニタリングを実施し介護計画の見直しの際に活かしている		A. 十分にできている B. ほぼできているかいご C. あまりできていない D. ほとんどできていない	タブレットを利用する事でリアルタイムの情報を共有して細かい数値を元にケアプラン作成に生かしている。IT 機器を取り入れ業務の効率化、情報共有を取れるようになったのは素晴らしい取り組みだと思います。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人様・ご家族様の要望に配慮しつつ、必要に応じ求められていることに対し最善の支援ができるよう努めている。都度ニーズに合わせ、柔軟かつ多機能なサービスの提供に尽力している。また会議で既存のサービスについて意見を出し合い、都度協議するようにしている	ご本人様、ご家族様からの要望の傾聴をしている。 ご本人様、ご家族様からの困りごと、何をしたいのかどうありたいかを傾聴している。 ご家族様からのご要望ドアノブを握りやすい物を取付けて欲しい直ぐに対応している。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	域資源を利用者様が活用できるよう支援している。心身共に健康であれるよう、お散歩や庭仕事などで豊かな暮らしに繋がるよう工夫をしている。地域のイベントなどに参加しているが、地域貢献の場でもっと活躍してもらえよう支援していくことを課題としていきたい。	地域資源の具体例、お祭り、イベント（落語・ダンス）参加します バザーなどもやりたい、参加したい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者全員が施設提携医と在総契約をしており、24 時間オンコールで往診の体勢が整っている。訪問歯科や訪問マッサージ等の受け入れをしている。ご家族様への報告や相談も定期的に行い、現状でできる選択肢をできるだけ持って頂けるように医療機関とも連携しつつ常に検討し、ご家族様にお伝えすると共にご要望を伺っている。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入院したことによる ADL の低下等を軽減できるよう、可能な限り早期退院ができるよう医療機関・ご家族様と情報交換や共有を行っている。IC にもできる限り、ケアマネや職員が参加させて頂き、現状把握と今後の介護計画につなげている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	早期退院の取り組み、IC への参加による取り組みをされている。 ADL の維持を重視して早期退院を目指して医療機関と協力している。 入院から退院を見据えた 支援が図られています。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・御家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご家族様やご本人の意向を最大限尊重し、医師・職員が細やかに連携を取ることで、安心・納得した終末期が送れるように尽力している。状況変化にも随時対応し、意思確認の場を設けることで、ご本人とご家族様にとって最善を尽くしたお看取りとなるように支援している。最期の際はご家族様が傍に入れるよう都度連絡をさせて頂き、家族が共に過ごせるよう配慮している		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入所時から終末期の望ましい過ごし方や医療について丁寧に聞きとっておられると思います。 お看取りの実施と終末期における家族様との時間を大切にしている。 本人とご家族の意向を優先して終末介護を追求している。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	緊急事対応マニュアルを配備し、周知徹底をはかりつつ、救命訓練等の職員研修なども定期的実施している。急変時や事故発生時に落ち着いて対処できるよう実践力を身につけるよう指導している。救急搬送時には救命士にすぐに情報共有ができるよう、情報提供用紙も個別に完備し、情報をすぐに伝えられるようにしている。事業所内に AED も完備しており、ご家族様の意向に従って AED にて対応することもある。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	防火管理者が中心となり、年 2 回の消防訓練(日中想定・夜間想定)を実施している。うち一回は消防署の立ち会いをお願いし、AED、消火器の講習を行い、スタッフのスキルアップにもつなげている。米・水等、災害時の必要最低限の物資を確保し備	備蓄品の期限をチェックし交換している。期限切れの水は生活用水とし活用。 AED の設置、講習実施、備蓄品は 3 日分必要最低限の物資を備えている、トイレの備えは一日 10 回として計算している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	消防訓練を定期的実施されていると報告頂いてます。 AED や消火器など災害救命器具を実際に活用できるように訓練に努めている。

				蓄。災害対策委員による消費期限等の確認を行っている。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の何気ないひとことや態度、言葉遣いに配慮し、常にご本人の誇りや尊厳を傷つけないように、日々の支援の中で確認・改善に努めている。更衣・入浴・排泄の介助では、プライバシーを確保し、同性介助等の希望もできる限り対応するよう努めている。理念にもあるとおり、「その人らしい暮らしを支える尊厳のあるケア」を提供できるよう尽力している。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その人らしい生活を支えるケアを実施している。同性介助の実施、尊厳の尊重に努めている。受け止めは人それぞれでしょうが、いつも明るく丁寧な対応をされていると感じております。プライバシーを重視してデリケートな介護方法に努めている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員主体のケアにならないよう常に気をつけ、ご本人のペースを尊重しつつ自立支援に努めている。ご自身の意思表示が可能な方には話しやすい環境を提供し、常に選択肢を持てるよう、日々のケアで実践につなげている。意思表示の難しい方についても表情や生活歴などを考慮し、常に何が最善かをカンファレンスで話し合うようにしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みを伺い、また ADL を活かし、利用者と職員と一緒に食事の準備、片付けをしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在は出来る限り一緒にお食事を楽しんで頂けるようにしている。またいつもの食事以外でも、楽しんで頂けるよう、時々出前を頼んだりもしている。ご本人の嗜好を伺い、好きなものを食べれるように御家族の協力をへて支援をしている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食卓を共にして利用者との一体感を生み出前などの刺激的な食事シーンも用意して、食事を楽しいアクティビティに引き上げている。食を大切にとらえ日々の食事や行事食を美味しく楽しく召し上がって頂けるように努力されていると思います。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	摂取量(食事・水分)をしっかりと記録し、情報の共有と把握に努めている。個々の ADL に合わせた形態の食事を提供しており、医療とも連携。メニューは契約している配食業者の栄養士が栄養バ			

				ランスを考えて決めている。提携医の判断に基づく個々の期間に応じた定期的な血液検査等で、栄養摂取状態や脱水の状態などの把握に努めている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	食事毎の食後の口腔ケアを実施しているほか、週2回は当社雇用の歯科衛生士による口腔ケアや口腔内の様子の確認を行っている。歯科医と契約している人は月に一度口腔内の検査をしてもらうほか、口腔ケアも受けることができる。衛生士により医師と連携し、ほとんどの治療を施設にて受けることができる。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	歯科医の診察で場合によっては嚥下の評価もされていると伺いました素晴らしい取り組みだと思います。専任の衛生士が週二回、口腔ケア実施。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	個々のADLに合わせたトイレ誘導や排泄介助を実施。また、表情や仕草なども観察し、必要に応じて誘導をするようにしている。トイレでの自立排泄をできるだけ促せるように支援を行い、薬による排便コントロールだけではなく、食べ物や飲み物、オリゴ糖や運動など薬に頼らない排便コントロールも支援している。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ADLに合わせた排泄介助。排便コントロール、薬だけでなく食事や運動も工夫されている。本人の能力が発揮できるようオムツや薬をできるだけ回避した介護を心掛けている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、個々にそった支援をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	基本となる入浴の目安日はあるが、体調やご本人の気分・意向などを考慮して穏やかでリラックスして頂けるような入浴支援対応を実施している。(入浴剤等も活用)同性介助の希望があれば対応しており、ご本人に選択肢を持って頂けるような意思確認もするようにしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息して頂き、安心して眠れるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	居室内の湿度や温度の管理を24時間365日対応で実施。日中でも居室にてお休み頂ける環境設備を行っている。夕食後、共有スペースでのTV鑑賞、職員との談笑、傾聴などで安眠に繋がるよう支援している。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は薬についての理解を持ち、都度状態の変化にも注意を払ってくれている。服薬管理マニュアルに沿って誤薬や服薬漏れなどの事故防止に努め、トリプルチェックなどの体勢で徹底している。24 時間薬局とオンライン対応が来ている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	落薬、誤薬の予防法を厳重に備えている。 トリプルチェックの実施、薬局との 24 時間オンライン対応が来ている。 服薬ミス等の事故がほとんどありません。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	趣味や生活歴から、興味のありそうなことをレクで実施するなどし、お誘いしている。レク等へのお声がけはもちろん、ガーデニングや畑仕事など、お手伝いをお願いすることで感謝される側であることを認識していただき、生活に意欲を持てるように支援している。最近では、ケアプラザのイベントに参加、出店はできませんでしたが、フリーマーケットに出かけて地域との繋がりを持ち、楽しみが増えるよう尽力している。	もっと地域のイベントに参加したい(利用者) ガーデニング、畑仕事をはじめ。 ケアプラザのイベントに参加 フリーマーケットに参加。 間も、なく桜が咲く頃お花見に近所の公園に出掛ける。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の散歩や外気浴など日光を浴びて頂けるような支援を都度実施している。ガーデンや近所の公園に花見に出かけたりケアプラザのイベント参加や外食支援、通院時に寄り道をしたり買い物支援をしたりと外出す機会を多く持てるように配慮している。	通院時の帰り、マクドナルドでモーニングを召し上がり楽しめる 車イスの方も行ける外食をしたいと思います コンビニでイートインできるとに出かけアイスクリーム・ポテトフライを召し上がる。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご希望のある方の個人のお財布等は金庫でお預かりし必要に応じて金庫からお渡しすることでお買い物や通院などの支払い個人でして頂いている。手元に無いと不安になってしまう利用者には決まった金額をお渡しし時々金額確認を行う。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	携帯電話を所持し、いつでもご家族に連絡ができる方もいらっしゃる。面会等電話の取り次ぎも対応している。お手紙を書ける方には手紙等の			

				サポート支援も実施。ご家族に御了承頂けている方は、本人の希望に応じ電話もかけられ、毎年年賀状を作成し大切な方々に送って頂いてます			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりのADLに合わせ、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者様が安心してお過ごし頂けるよう整理整頓はもちろん、ご家族様の写真を飾ったり、使い慣れた物、見慣れた物、見覚えのある物に囲まれて生活できるよう支援している。また、季節を感じて頂くことができるよう、玄関や共有スペースには飾り付けをしたり、手作りで制作したものを展示したりしている。湿度計・温度計を各居室やリビングに設置し、加湿器や空気清浄機等で調整している、芳香剤のレンタル契約を実施している		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	馴染みのある物や季節を体感出来る装飾で安心出来る日常を提供している。居住空間作りに力を入れ、加湿器、空気清浄機の設置、芳香剤のレンタル契約を実施している。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	できる限りご家族様に生活歴やご本人の望む生活について伺い、本人の望む生活を守れるよう寄り添う努力をしている。ご本人にも都度意思確認を行い、選択肢を持って頂けるようなお声掛けができるよう日々尽力している。また、ケアプランは本人主体で職員の都合に合わせてしまっていないかなど、日々ケアカンファレンスなどでも話し合うようにしている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	生活歴やお人柄、今まで生きてきた歴史を入居前情報としてご家族様に記入して頂き、アセスメント情報などからご本人らしい暮らしができるように支援している。また、ご本人のちょっとした会話で出たご希望やご要望も職員間で共有し、望みがあればできる限り近づけるように努力している。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日バイタルの確認をし、入浴時や着替えの時などにボディチェックができる方は実施している。全員が医療機関と在総契約を結んでおり、月に数回の往診で医療面も充実している。カンファレンスや会議などでご入居者様の安全について都度協議し、ご本人の安全を守る努力をしている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	往診を通して医療機関と密に連携し利用者の身体状況について数値観察から確認し異変を見逃さないよう努めている。 転倒事故をゼロにすることは難しい事ではあるが一つ一つの事故についてきちんと検討し再発防止の取り組みに繋がられている。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人が居室で過ごしたいなど好きな場所で過ごせるよう、意思の確認を行っている。希望があるときはもちろん、ご本人の生活が無理のないものであるよう、傾聴しつつ支援をしている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時はもちろん、自分の馴染みの物や大切にしているものをそばに置いて頂けるように配慮している。高価な物については金庫で保管し、ご本人の希望に応じお持ちするようにしている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	39と同様、その人らしさを大切にしたいケアがなされている。 馴染みの物が身近にあるように備え大切な物の所在を常に確認できるように工夫している。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣の催事に出かける支援は再開している。外部受診等の際に外出するなどの支援はできている。今年も地域の行事に参加致しました。買い物に行く際には付き添いをし支援に努めている。	地域との関わりを重視した外出支援を増やしていく、幼稚園児との交流出来るような企画を考案する。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居された方にはできるだけ役割を持って頂けるような支援を実施している。ご本人が自分はまだ誰かに必要とされていると感じ自信を持って頂けるようサポートしつつ役割を担ってもらっている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	支援の中でご本人が話をすると喜ぶことや、生き生きとお話されるキーワードなど、職員が共有し、日々の支援の中で寄り添う時間に活用している。自施設でのお看取りを		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段からお一人おひとりに寄り添ったケアがなされている。話題や言葉選びに注意して本人が気持ちよく過ごせるように努めている。

				実施しているので、レクの参加など活動自体が難しくなった方でも、口腔体操やボディタッチなど、ご本人が寂しいと感じることがないように配慮している。			日々の会話の中で寄り添う時間に活用できる様に努めている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わり、交流することができている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	運営推進会議に参加して頂き、ケアプラザに出掛けたり、散歩やガーデンで過ごすときなどにご近所の方と挨拶を交わすなど、人と関わったり交流できるように支援している。今後は地域の小学校や中学校などとの交流が出来る様課題としていきたい。	ケアプラザとの関わり、散歩時にはご近所の方との挨拶。 コロナ前は小学校から合唱の披露などできてくれた、もえぎ野幼稚園との交流は出来ないか？		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心でよりよい日々をおくることができている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	理念にあるとおり、その人らしい暮らしを支える尊厳のあるケアで、ご本人の望みは何なのか？どんなことを望んでいらっしゃるのか。常にスタッフとカンファレンス等で話し合い、感じたことや意見を出し合い、ご本人が「ここが自分の居場所だ」と感じて頂くことができるよう配慮し、ケアを提供している。	【ここが自分家】と認識して頂くのは中々大変なこと。家族のようにケアできたらいいなと思っている。 ご家族宅に外泊される利用者もいらっしゃるが「お家に帰りたい」と仰って頂く事がある。 ご本人が自分の居場所だと感じてもらえるように取り組みたい、家族の様なケア。	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ここが自分の居場所だと感じて頂ける様なケアを心掛けているところが素晴らしい。 本人の望む日常が提供できる様コミュニケーションとカンファレンスを通して環境づくりに留意している。 ケアプラザにも日常的に足を運んで頂いています。地域に溶けこんだ GH だと思います。